

第5回「胃と腸」賞贈呈式開催さる



第5回「胃と腸」賞贈呈式は7月16日（水）の早期胃癌研究会例会会場（エーザイ本社5階ホール）で開催されました。

今回は、名古屋市立大学第1内科宮治眞氏ほか7氏の次の論文に贈られました。

宮治眞 伊藤誠 鈴木邦彦 八木英司 横地潔 片桐健二 武内俊彦

「高齢者における血行障害性腸病変」（「胃と腸」14巻5号 615～626頁）

当日は例会幹事の竹本忠良山口大学教授の司会のもとに式が進められました。宮治眞、武内俊彦両氏が代表として壇上で紹介を受け、早期胃癌研究会（村上忠重代表）の芦澤眞六東京医大教授より賞牌と賞金を贈られ、春日井達造愛知県がんセンター副院長より御祝辞をいただきました。

御祝辞のなかで春日井氏は、「本論文は同じ名古屋の厚生院の1,000余例を対象としたものだが、わが国では研究が遅れていたこの領域で立派な仕事が行われてうれしい。今後の更なる発展を期待したい」とお祝いのことばを述べられました。

宮治氏は、「厚生院という特殊な老人医療施設で得た研究成果をいかに普遍化しうるかを考えている。これを機会に一層努力したい」と謝辞を述べ、式は終わりました。



（右）宮治眞氏、（左）武内俊彦氏。

芦澤教授（右）より賞状を受ける宮治氏。